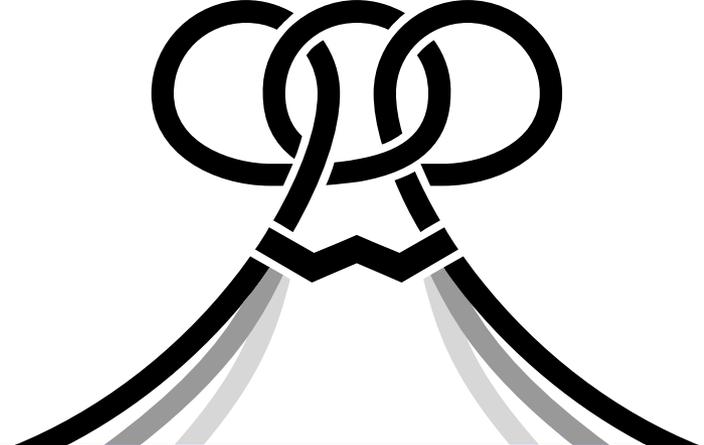


スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【武道ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

Ageshio Japan株式会社



世界でただ一つ！空手発祥地“沖縄”の空手ツーリズム事業



取組概要

世界に1.3億人の愛好家を有する世界最大の武道である「空手」発祥の地「沖縄」で、空手資源・観光資源を融合し、沖縄を訪れる空手家・旅行者を対象に、6ジャンル（空手観光、他武道体験、文化体験等）で合計25点の多様性ある空手ツーリズム商品を開発。空手発祥の地、沖縄に「空手ツーリズム」という、世界中でも唯一の、新たな観光市場を創出するとともに、沖縄県内の空手・観光業界発展への貢献も目指している。



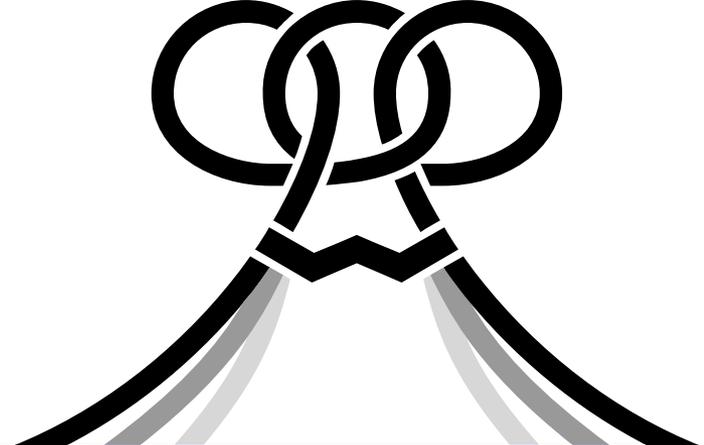
評価ポイント

- 沖縄の状況を踏まえて応援したい気持ちもある。
- 世界に広がりのある取り組みは評価できる。
- 武道ツーリズムの牽引者になりうる取組。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【武道ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

むらやま武道ツーリズム推進協議会



居合道発祥の地でサムライ体験 山形県村山市



取組概要

山形県村山市には日本一社居合神社があり、居合の始祖が祀られている。居合道発祥の地という地域文化を活かした着地型体験プログラム「居合道発祥の地でサムライ体験」。

居合神社の境内に隣接する道場「居合振武館」にて、夢想神伝流居合の形「初発刀」を習い、抜刀術宗家の指導のもと真剣で畳筒を斬る試斬体験ができる。インバウンド訪日客はもちろん、日本人にとっても、忘れがたいエクスペリエンスとなっている。

居合道講師、運営ともに地元を中心に進めており、観光資源や農業体験、他市町との連携を目指している。

評価ポイント

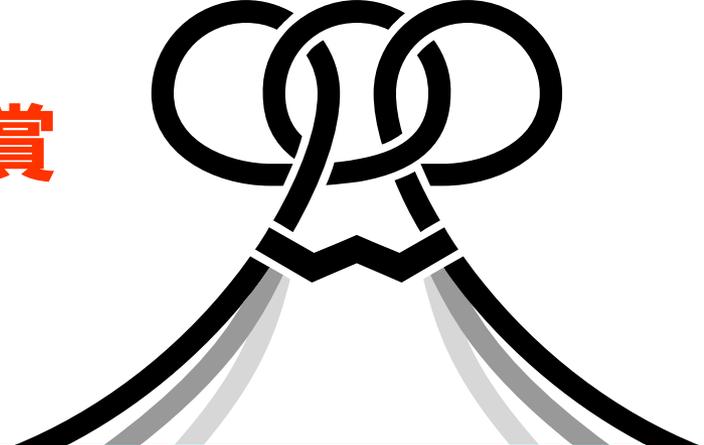
- 海外に経験者が少ない居合を体験でき、アピールになる。
- 一般の方に向けてツーリズムとしてしっかりできている。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

【日本遺産ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

和歌山県和歌山市



日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」をめぐる！日本初のミュージックマラソン 「和歌山ジャズマラソン」



取組概要

2001年から実施し、2021年に第20回大会を迎える。マラソンの舞台は日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」。歴史文化を肌で感じながら風光明媚な景色の中を駆け抜けるコース設定。コース沿道に、ジャズのライブステージを設け、生演奏の軽快なリズムがランナーを後押しし、メイン会場では、特産品を味わえるブースを設置。食文化も味わうことができる。地元婦人会、自治会、学生等の協力を得、地域一体で盛り上げている。

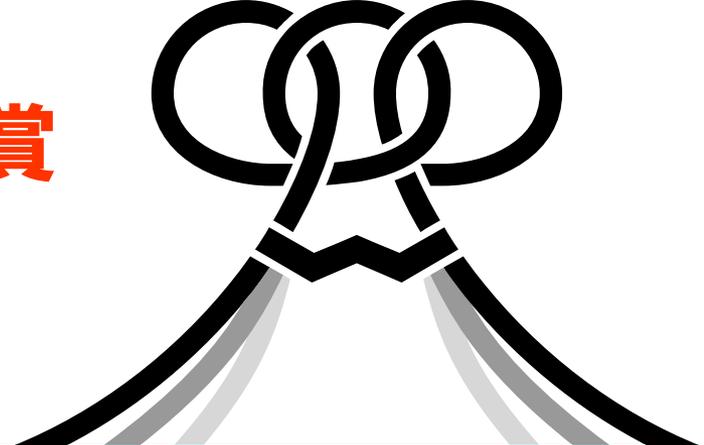


評価ポイント

- スポーツと文化の両方の要素がバランスよく入っており、地元とも調和している。総合点として高い。
- マラソンが多い中、異彩を放っており歴史もある。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

【日本遺産ツーリズム賞】特別賞



(申請団体)

出羽三山シンフォニー実行委員会

出羽三山の精神文化と山形交響楽団のコラボレーションによるコンサート

『出羽三山シンフォニー』



取組概要

出羽三山が日本遺産に認定されたことをきっかけに、平成28年より実施し、過去4回開催。
出羽三山（三神合祭殿広場）を会場に、山形交響楽団によるフルオーケストラコンサートを実施。
屋外でのフルオーケストラコンサートという希少性もあり、本コンサートが組み込まれた旅行商品が造成されるなど、国内外から来場。
コンサート映像（概要版）をWEB配信することにより、日本遺産である出羽三山の魅力を広く国内外に発信している。



評価ポイント

- 荘厳な中で行われているきわめてユニークな取り組み。
- 唯一無二な場所での個性的なカップリングによる取り組みである。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

TOYOURA世界ホタテ釣り協会

『TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会』 ～The world scallop fishing Championships～



取組概要

北海道豊浦町は、噴火湾における「ホタテ養殖発祥の地」として50年以上の歴史がある。そのホタテを活用した世界大会として、公式ルールなどを決め、平成21年より毎年3月に個人戦（現在までに12回開催）の開催、秋には団体戦やジュニア大会（現在までに各7回開催）を実施。1試合の制限時間を3分間とし、専用の釣竿で水槽内の活ホタテが何枚釣れるかを競う。

大会開催だけに限らず全国各地へのイベント出張や、教育旅行・インバウンド・インセンティブツアー等の体験プログラムとして同競技を普及すべく、様々な活動を行っている。

評価ポイント

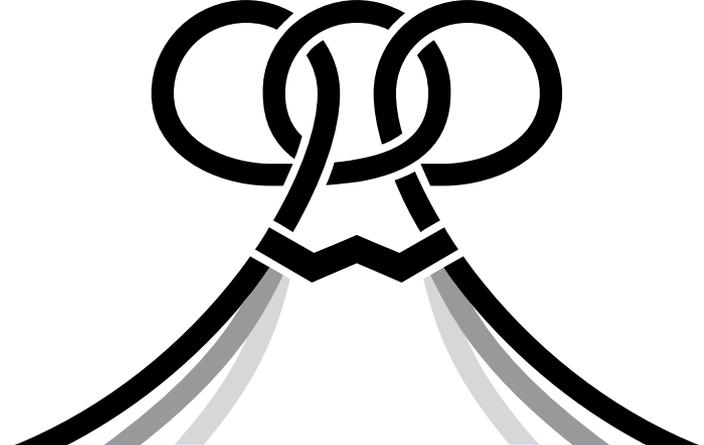
- 一目見て、自分もやりたいと思えるユニークな取り組み。
- この町にふさわしいイベントで個性的。運営努力もみえる。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

日本酒蔵ツーリズム推進協議会



「晴れの酒、花の宴。」日本酒蔵ツーリズム推進事業



取組概要

日本酒をはじめ日本産酒類の消費量が減少しているなか、文化財を人が集う場として活用し、最新ビジュアル技術を駆使し、訪日客など内外に発信することにより、日本の酒の復興（ルネッサンス）を目指す。

旧醸造試験所第一工場（通称：赤煉瓦酒造工場）では、重要文化財である赤レンガ倉庫の見学、醸造文化である酒造りの理解、食とのマリアージュ、伝統芸能である酒をテーマにした落語など、日本産酒類とそれに関連する文化をテーマにしたイベントを開催。貴重な文化財の認知拡大や酒食をはじめとする日本文化の周知、さらに「日本酒蔵ツーリズム」の認知拡大に継続的に取り組む。

評価ポイント

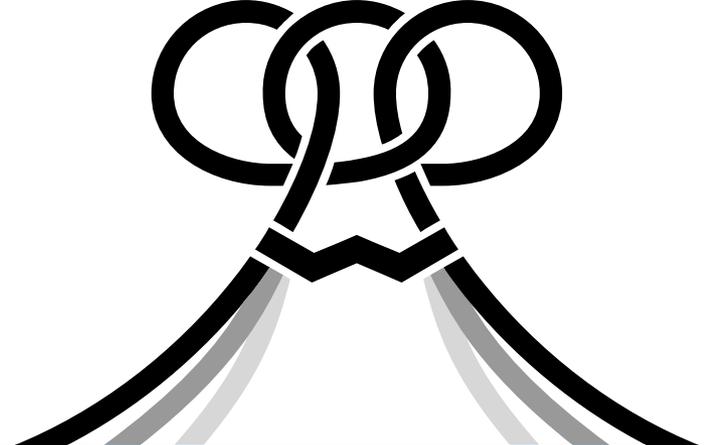
- 将来性があり、各地域ともうまく結びついていて良い。
- 昨今の海外における日本のお酒に対する評価も高いのでニーズがある。

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

一般社団法人しもきたTABIあしすと



ジオ・ガストロノミー・ツーリズム



取組概要

国定公園に指定され、日本ジオパークにも認定される下北半島の自然。

この自然・景観(ジオ)の独自性、また、ジオにより恵まれた食資源・食文化の独自性(豊かさ)を、シンボリックに伝えるため、特異なジオ環境下で、下北の食材をふんだんに使ったダイニングイベントを「下北ジオダイニング」と銘打って開催。

開催により、下北地域の独自性を明確化するとともに、広報により、その魅力を発信している。



評価ポイント

- 小規模な取組ながら、本質的なところをついており、見せ方もうまい。
- ツーリズムとしての建付けがしっかりあり、食の考えもしっかりしている。